

お墓は、わが家のパワースポット

最近、お墓参りに行っていきますか。お墓はご先祖様を供養する大切な場所。今、ここに自分が存在できているのはご先祖様のおかげです。お墓をきれいにすることだけではなく、ご先祖様に挨拶や報告をすること、それがお墓参りなのです。先祖代々のつながりをしっかりと感じながら、墓前に手を合わせ「家族はみんな元気です」「いつも見守ってくれてありがとうございます」など、日ごろの平穩無事を報告し、感謝の気持ちを伝えることが大事です。清掃してきれいになり、健やかな空気に包まれたお墓を通してご先祖様と語らううちに、気分もリフレッシュし、爽やかな気持ちになれるはず。お墓参りをする事で心が安らになり、思いやりや感謝の気持ちをもち続けられ、運気も上がるでしょう。お墓は故人と私の大切な場所。気持ちを整える立派なパワースポットなのです。

お墓参りの持ち物は、供花、お線香、ろうそくが基本とされています。お花についてはお供え造花がおすすです。例えばお盆の時に猛暑日が続けば、せっかくお供えした生花はすぐに枯れてしまいます。水も腐敗するため、悪臭や害虫が発生する原因に。水が不要でお手入れ不要、長期間使用できる造花がお供えであればいつでも気軽に参りできます。造花は現代の環境に適しているのです。加えて、コンパクトな納骨堂や霊園では、遺族がお供えしたあとの生花を管理しきれず、生花が禁止になる所もあり、造花が普及し始めているのです。

※造花とはプラスチック、ポリエステルで造られたお花です。



お墓参りで運気アップ?!

ご先祖様に感謝する習慣が、運気アップにつながります

気軽にきれいでうれしいお供え花



発行：株式会社ポピー

おまいりだよりは、お参りに関する最新事情や、供養に役立つお供え花の情報をお届けする広報紙です。



www.telefloral.info

POPPY INC.

神奈川県横浜市神奈川区大野町1-8

生花と造花はこんなに違う

費用の差(例)
生花：約 980 円
造花：約 980 円

↓

日持ち差(例)
生花：約 1 週間
造花：約 3 ヶ月



生花



造花

生花をお供えして枯れてしまった墓前と、造花をお供えし華やかな墓前

お供え花は、故人を偲ぶ心の現れです

「フューネラルフラワー」という言葉をご存知でしょうか。仏事に使用する花の総称で、耳慣れない方も多いかもしれません。一般社団法人ジャパンフューネラルフラワー協会の代表理事であり、仏華デザイナーとして活躍する岩田弘美さんに、現代の暮らしに寄り添うお供え花について伺いました。

「18年前から造花やプリザーブドフラワーを使用した『仏花の新しいカタチ』を提案していますが、造花を手向けることにうしろめたさを感じる方もいらっしゃると思います。しかし年々造花需要は高まりそれに伴い素材の品質も改良され種類や価格も好みに合わせて選べます。また、経済的理由により常に生花を手向けられないという方も増えています。生花でも造花でも何より大切なことは、お花を供えて故人を偲ぶ心だと思います。柔軟な発想で自分に合った花を選び、墓前で手を合わせる時間を大事にしたいです」

ライフスタイルに合わせて造花と生花を上手に併用



仏華デザイナー 岩田弘美

一般社団法人ジャパンフューネラルフラワー協会理事 / ラムズイヤー株式会社代表取締役 / お供花コンテスト実行委員長 / 終活カウンセラー上級 / 京都グリーンケア協会初級・ちいさな祈りのプロジェクト PRAYfor(ONE) 参加

「お供え花に造花を取り入れるメリットはたくさんあります。とにかく種類が豊富で、故人が好きだった花を一年中供えることができますし、組合せも自由です。買い置きして時間ができたときにいつでもお墓参りに行けます。さらには枯れることもなく、約3か月間(品質・状況により異なる)は墓前をきれいに彩ります。水が不要なので衛生的で、後始末も簡単。カラスなどの野鳥に汚されることなくきれいに保てます。とはいえ、生花のみずみずしさは造花にはない魅力。それぞれのよさを、ライフスタイルに合わせて取り入れましょう。造花で供養の花を絶やさない、という併用スタイルは、ストレス軽減現代ならではの知恵だと思います。」

秋分の日はお墓参りの日

おまいりごよみ

お盆だけではない、お墓参りの年中行事。四季折々にお参りし、故人を偲ぶ時間をもちませんか。墓前に手を合わせ、故人と語らうことで、明日からの生きる力も湧いてくるはず。お供え花は、故人を思い出しながら、ともに季節を味わえる素敵なアイテムです。こよみとともに、四季を感じることでのおすすめのお花をご紹介します。

母の日参り

近年、亡き母を偲ぶ日として母の日(5月の第2日曜)を中心にゴールデンウィークなどにお参りします。カーネーションを中心に故母の好きな花をお供えしましょう。

お盆

8月13日～16日

ご先祖様の霊を、この世に迎え入れて供養します。7月に行う地域も。ホオズキやキキョウ、リンドウなどをお供えし、もてなしましょう。

秋のお彼岸

9月20日～26日ごろ

春のお彼岸と同様、秋分の日を「お中日」として、前後三日の計七日間が、秋のお彼岸です。「秋桜」と書くコスモスに、菊、収穫を祝うイナホなどを入れてアレンジしてみてもいいでしょう。

春のお彼岸

3月17日～23日ごろ

春分の日を「お中日」として、前後三日の計七日間を、春のお彼岸と言います。サクラやナハナ、ストック、フリージアを加えると、明るい春の雰囲気がいっそう増します。

しょうつきめいにち 祥月命日と月命日

祥月命日とは、一周忌(いっしゅうき)以降で、一年に一度訪れる故人が亡くなった月日のこと。月命日は、祥月命日のある月を除いた毎月で、故人が亡くなった日のことです。故人の好物と一緒に、季節の花や愛した花を飾って供養しましょう。

年末年始

年末にお墓の周りを大掃除し、一年の感謝を伝えましょう。お正月には、ユリ・ラン・水仙や千両などをお供えします。ご先祖様に新年のご挨拶をし、すがすがしい気持ちでスタートを。

※仏事・供養に関しては地域・宗派により異なる場合があります。

わが家のお墓は
どのタイプ？

お墓に似合うお供え花を 選んでいますか？

今回は特に需要の多い4タイプについて提案します。色は、重厚感のある黒と、やさしい印象の白～灰色。形は、縦長の和型と、横長の洋型。それぞれに似合う「お供え花」を選べば墓前がより華やかになり、故人も喜ぶでしょう。

洋風型



背が低い洋型タイプは、近年需要が高まっています。お墓の背より高くない、小さめで横に広がるお花がおすすめ。墓石の色に合わせて、花色も変えましょう。



マーガレットのような横に広がるお花で華やかに

背の低い洋型なので、墓石が隠れてしまう大きな花は避けて。デージーやマーガレットのような、横にふんわりと広がる洋花や背の低い小花がお供え花に最適です。白い墓石なので、白系やパステルカラーの花色がナチュラルに美しく映えます。



鮮やかな花色のラウンド形で黒い洋型のお墓を引き立てて

花の置き場所が低い洋型のお墓には、上から眺めてもきれいな丸い形のお供え花が似合います。なかでも黒い墓石には、鮮やかな花色がぴったりです。ピンクや黄色、白いキクをミックスした艶やかなお供え花で賑やかに彩りましょう。



和風型



霊園でもっとも多いのが、縦長の和型標準墓石です。シンプルで、おなじみの形とも言えます。墓石の高さに負けない、背の高い花がおすすめです。墓石の色で、映える花色も変わります。



ダリアなどの白い花が爽やかに、品よく彩ります

和型で白～灰色タイプのお墓には、背が高く、白い花を多用した清潔感のあるお供え花がひと際映えます。ユリはもちろん、ダリアやピオニーなど、大輪で華のある種類はとくにおすすめです。エレガントで明るい雰囲気が、墓前に広がります。



赤いグラジオラスのような印象的な花が黒に映えます

シックなワイン色やブルーなど、濃い花色をアクセントにした背の高いお供え花が、高級感あふれる黒い墓石を引き立てます。高さのあるグラジオラス、大ぶりで優雅なユリなど、個性的な花をたっぷりを使い、お墓を引き立てましょう。



白

黒

ワンポイント：昔からの和花にとらわれず洋花を上手に活用してお花選びも楽しく！※写真は全て造花です。

お供えする前に

お供え造花を購入された場合、そのまますぐにお使いいただけますがお供えになる前に、やや縮んで見える花や葉を広げたり、全体の形を手でやさしく整えたりしてからご使用いただくと、よりいっそう美しく飾っていただけます。

* 配送状況や袋から取り出す際に、お花が茎から取れてしまうことがありますが、再度取り付けられます。取れてしまったお花は取り付けてからご使用ください。

花や葉は、手で簡単に形が整えられます

花や葉は、茎の部分を持って手で簡単に広げることができます。それだけで全体のボリューム感がアップします。花びらも少し広げるだけで、ぐっと見映えがよくなります。



お墓に合わせてサイズチェンジできます

お墓の大きさや花立のサイズよりちょっと長い…なんてことはありませんか。造花はワイヤーが入っているので、簡単に折り曲げられます。はさみやペンチで切ることもできるので、お好みの長さに調節することもできます。



お花をプラスして華やかに

お供え花に、故人の好きだった花や季節の花を1輪プラスすると、ボリュームもアップし、より心のこもったお供え花になります。造花には、1つの茎に複数の花が付いているタイプと、1種類のみ付いているタイプがあります。雰囲気や色、ボリューム感、価格に応じて、自由に選んで組み合わせてください。故人を思いながら花を選ぶ時間を楽しむことが、何よりも故人の供養につながります。



お供え花に NG はあるの？

バラやあざみなど、トゲのある花を供えることはご先祖様を傷つけるとされタブーと言われてきましたが、価値観が多様化した現代では、故人の好きだった花やイメージに合う花を自由にお供えすることにも寛容になってきています（地域・宗派により異なる）。



手元供養

多様化するお供えのスタイルに合わせた供養の形や商品をご紹介します。

暮らしに寄り添う
お供えスタイル

仏壇がなくても、故人を偲ぶ小スペースを作る、新しい供養のかたち、「手元供養」が注目されています。思い出の品と一緒に、お供え花を飾れば、インテリアにも溶け込んだ、心やすらぐ祈りの空間を演出できます。



ペット供養

生活の伴侶として、ともに過ごしてきたペット。いつもそばにいてほしいという飼い主の気持ちに寄り添う、新しいペット供養が広がっています。大切なペットのために、やさしさあふれるお花をお供えしましょう。



ひろがる仏花

ふわっと広がる軽い素材感、近年人気のある横型の洋風な墓石によく似合います。ガーベラやカーネーションなど、花の種類も色も豊富です。色とりどりの華やかなお供え花で、墓前を明るくきれいに保ちましょう。

